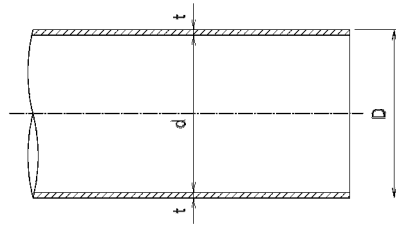


直管部共通寸法



(単位: mm)

呼び径	外 径 D		厚 さ t		参 考	
	基準寸法	平均外径の許容差	最小	許容差	内径 d	1m当りの質量(kg)
150	165.0	±0.5	5.1	+0.8	154.0	3.941
200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875
500	520.0	±1.6	14.6	+2.0	488.8	35.346
600	630.0	±3.2	17.8	+2.8	591.6	52.679

備考：本表は、JIS K 6741 の VU と同一である。

注 1. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角 2 方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。

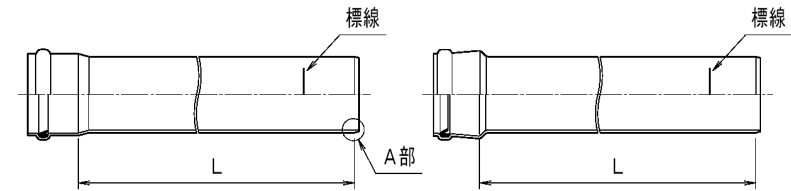
2. 表中 1m 当りの質量は、密度 1.43g/cm<sup>3</sup> で算出したものである。

3. 内径は、管の厚さを t(最小) +  $\frac{\text{許容差}}{2}$  として算出したものである。

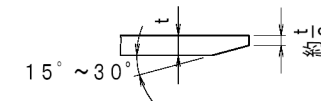
ゴム輪受口片受け直管

本管形(略号 SRA)

取付け管形(略号 SRB)



A部詳細図

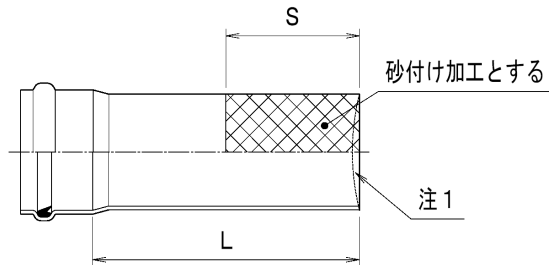


(単位: mm)

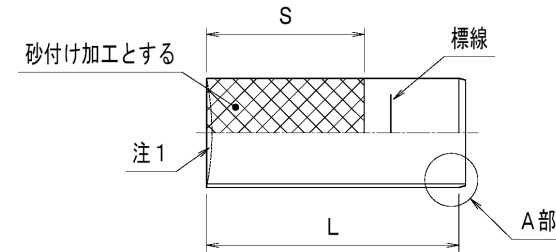
呼び径		L
取付け管形	150	800±10 4000±15
	200	
本管形	150	4000±15
	200	
	250	
	300	
	350	
	400	
	450	
500		
600		

注 1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。

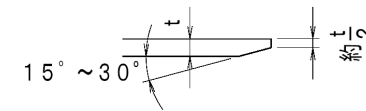
上流用マンホール継手(略号 MR)



下流用マンホール継手(略号 MSA)



A部詳細図



(単位:mm)

呼び径	L	S(参考)
200	500±15	250
250		
300		
350		
400		300
450		
500		
600		

注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。

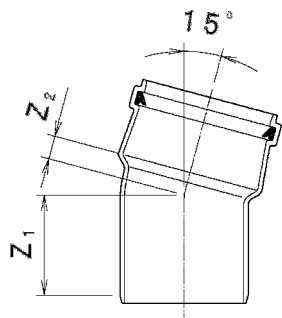
2. ゴム輪受口は、本管形とする。

(単位:mm)

呼び径	L	S(参考)
200	500±15	250
250		
300		
350	750±15	
400		1000±15
450		
500		
600	350	

注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。

ゴム輪受口 15 度曲管(略号 15SR)

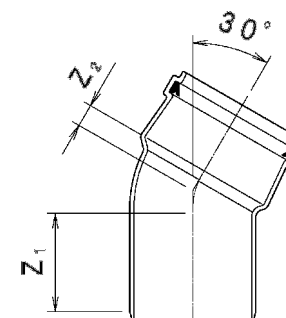


(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2 (最小)
100	110	5
125	118	10
150	129	15
200	149	25

- 注 1. Z1 の許容差は、±15mm とする。  
2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
3. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口 30 度曲管(略号 30SR)

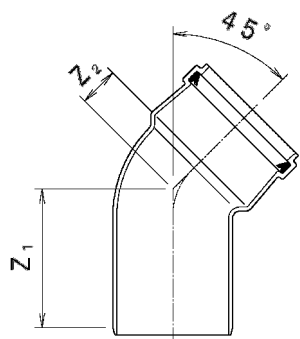


(単位:mm)

呼び径	Z1	Z2 (最小)
100	138	5
125	146	10
150	159	15
200	187	25

- 注 1. Z1 の許容差は、±15mm とする。  
2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
3. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口 45 度曲管(略号 45SR)

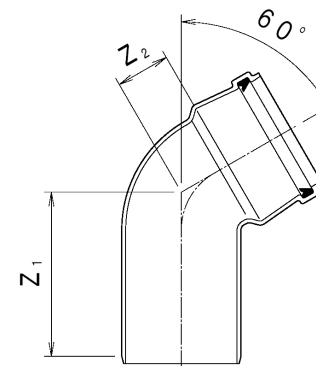


(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2 (最小)
100	167	35
125	175	35
150	191	40
200	228	55

- 注 1. Z1の許容差は、±15mmとする。  
2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
3. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口 60 度曲管(略号 60SR)

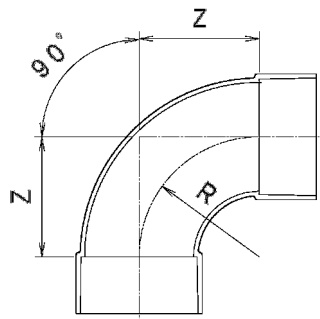


(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2 (最小)
100	199	55
125	207	55
150	227	60
200	274	75

- 注 1. Z1の許容差は、±15mmとする。  
2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。  
3. 面取りの形状は、規定しない。

90度曲管 (略号 90ST)



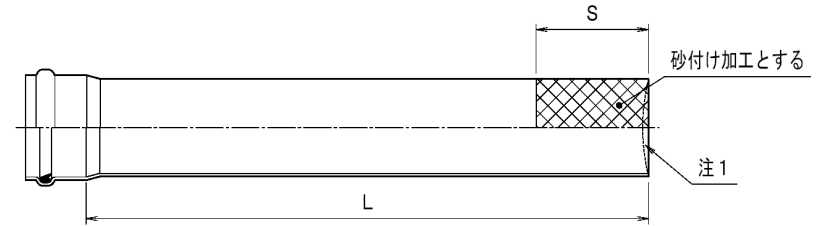
(単位:mm)

呼び径	Z	R (参考)
150	170	170
200	196	196

注1. Zの許容差は、±15mmとする。

注2. 副官放流部での使用を原則とする。

副管用分岐用マンホール継手(略号 MRL)



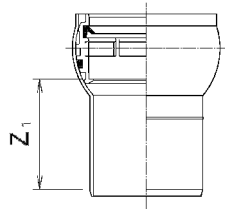
(単位:mm)

呼び径	L	S(参考)
150	1000±15	200
200		250
250		
300		
350		300
400		
450		
500	350	
600		

注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。

2. ゴム輪受口は、本管形とする。

ゴム輪受口0度自在曲管(略号 0SRF)  
(0° ~15° )

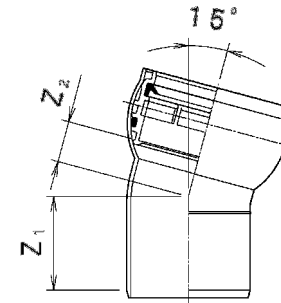


(単位:mm)

呼び径	Z1 (最小)
150	110
200	125

- 注 1. ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。  
2. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口15度自在曲管(略号 15SRF)  
(15° ~30° )

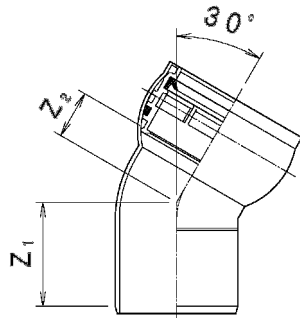


(単位:mm)

呼び径	Z1 (最小)	Z2 (最小)
150	101	40
200	121	54

- 注 1. ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。  
2. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口 30度自在曲管(略号 30SRF)  
(30° ~45°)

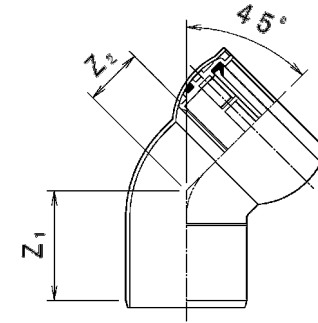


(単位: mm)

呼び径	Z1 (最小)	Z2 (最小)
150	117	50
200	140	75

- 注 1. ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。  
2. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口 45度自在曲管(略号 45SRF)  
(45° ~60°)

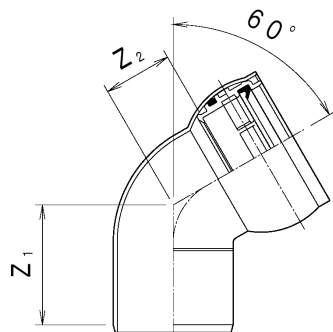


(単位: mm)

呼び径	Z1 (最小)	Z2 (最小)
150	130	68
200	155	93

- 注 1. ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。  
2. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口 60度自在曲管(略号 60SRF)  
(60° ~75°)

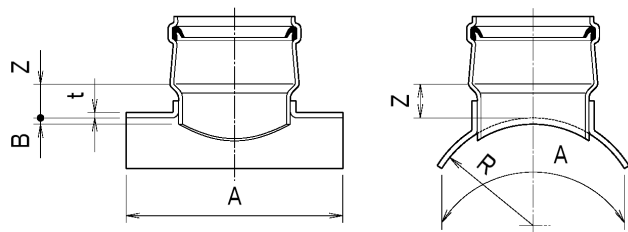


(単位:mm)

呼び径	Z1 (最小)	Z2 (最小)
150	134	75
200	175	121

- 注 1. ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。  
 2. 面取りの形状は、規定しない。  
 3. 取付管での使用を原則とする。



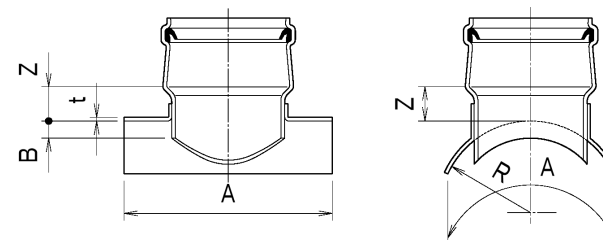


(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
200-150	50	4	300	6.5	108.0
250-150	50	4	300	7.8	133.5
250-200					
300-150	50	4	300	9.2	159.0
300-200					
350-150	50	4	300	10.5	185.0
350-200					
400-150	50	4	300	11.8	210.0
400-200					
450-150	50	4	300	13.2	235.0
450-200					
500-150	50	4	300	14.6	260.0
500-200					
600-150	50	4	300	17.8	315.0
600-200					

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Z の許容差は、±15mm とする。  
 3. R は、標準値を示す。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

鉄筋コンクリート管及び陶管用 90 度支管 (略号 90SHR)

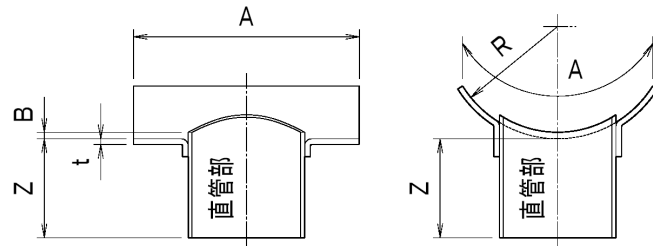


(単位: mm)

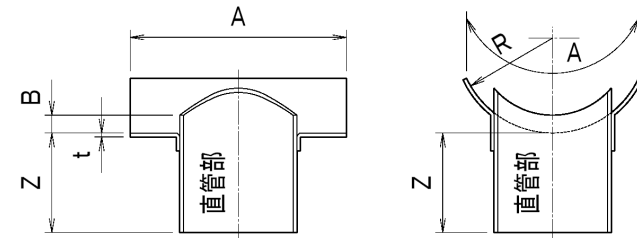
呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
200-150	50	4	255	25.0	127.0
250-150	50	4	255	26.0	153.0
250-200			300		
300-150	50	4	255	28.0	180.0
300-200			300		
350-150	50	4	255	30.0	207.0
350-200			300		
400-150	50	4	255	33.0	235.0
400-200			300		
450-150	50	4	255	36.0	263.0
450-200			300		

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Z の許容差は、±15mm とする。  
 3. R は、標準値を示す。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

硬質塩化ビニル管用副管 90 度支管(略号 VS)



鉄筋コンクリート管用副管 90 度支管(略号 HS)



(単位:mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
200-150	140	4	300	6.5	108.0
250-200	160	4	300	7.8	133.5
300-200	160	4	300	9.2	159.0
350-200	160	4	300	10.5	185.0
400-200	160	4	300	11.8	210.0
450-250	200	4	300	13.2	235.0

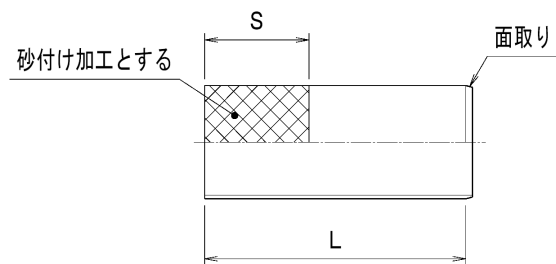
- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Zの許容差は、±15mmとする。  
 3. Rは、標準値を示す。  
 4. 直管部の寸法は、直管部共通寸法(p70)による。

(単位:mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
200-150	140	4	255	25	127
250-200	160	4	300	26	153
300-200	160	4	300	28	180
350-200	160	4	300	30	207
400-200	160	4	300	33	235
450-250	200	4	350	36	263

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Zの許容差は、±10mmとする。  
 3. Rは、標準値を示す。  
 4. 直管部の寸法は、直管部共通寸法(p70)による。

ます取付け継手(略号 MSB)  
(JSWAS、K-1)

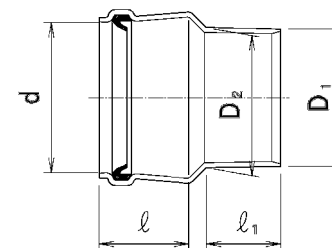


(単位:mm)

呼び径	L	S(参考)
150	500±15	200
200		

注. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口差込継手(参考図)

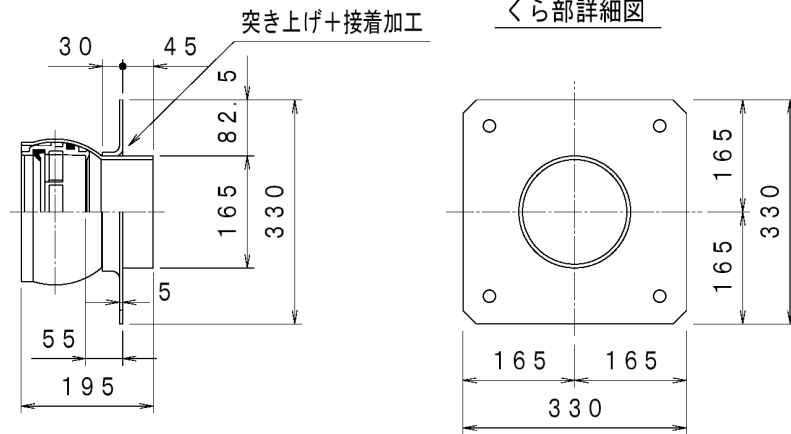


(単位:mm)

呼び径	D1	D2	l (参考)	l1 (参考)	d
150	153.0	155.4	100	80	166.0
200	200.3	204.2	115	105	218.0

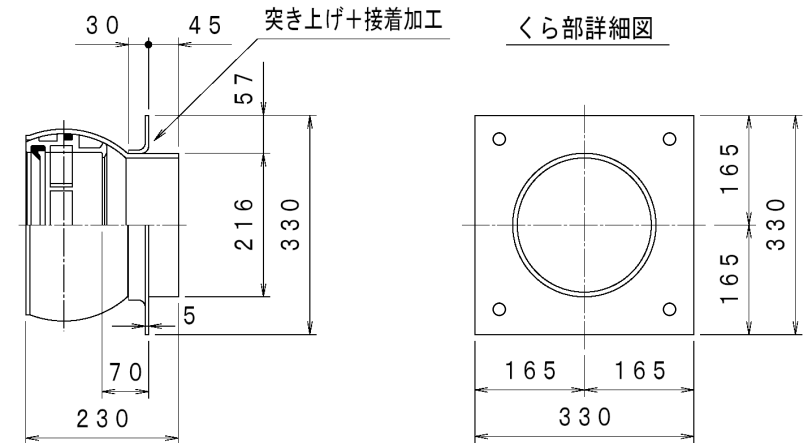
ボックスカルバート用支管 (参考図)

φ 150



ボックスカルバート用支管 (参考図)

φ 200

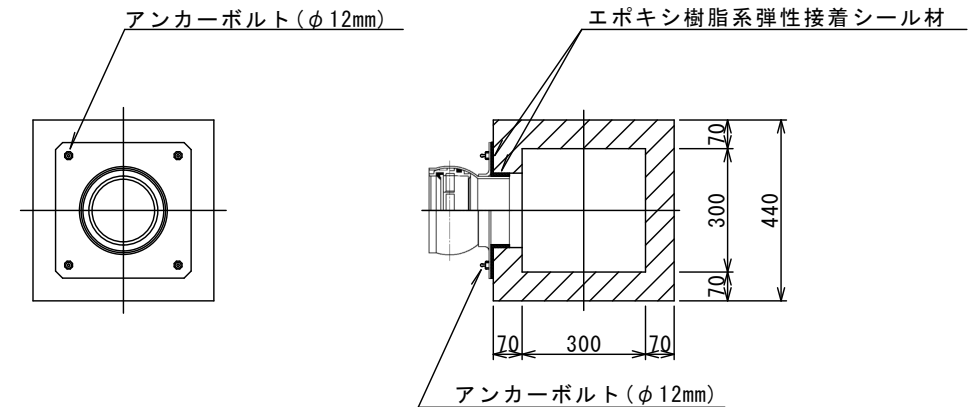


ボックスカルバート用支管施工 (参考図)

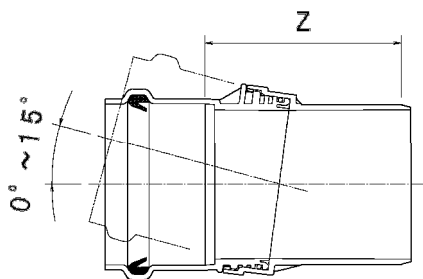
施工方法

1. ボックスカルバートに穿孔後、支管を仮置きしてアンカー孔をあける位置を確定します。
2. 支管の4隅にあるアンカー孔部分にあたるボックスカルバートに、アンカーボルトを打ち込むための孔をアンカードリル等であけます(φ12.7mmの大きさが目安です)。
3. φ12mmのアンカーボルトが、ボックスカルバートにあけた4箇所の孔に入るか確認します。
4. 支管の裏面に接合材(エポキシ樹脂系弾性シール材)を塗布します。
5. 接合材を塗布した支管を、ボックスカルバートに貼り付けます。
6. アンカーボルトを金槌等で4箇所打ち込み、ボルトを締めて支管が固定します。
7. 開口部(コア穴)と塩ビ管の隙間も接合材(エポキシ樹脂系弾性シール材)を充填し、ボックスカルバート内面に段差が生じないように仕上げること。  
また、ふち全周に1cm程度の重ね塗りをを行い、取付の完了とします。
8. 埋戻しは、所定の接合材硬化時間が経過した後にこなうこと。

注) ボックスカルバート支管の使用は、突き抜け防止のためであり、□600×600以下のボックスカルバート(暗渠Boxを含む)を対象とする。



本管用自在継手

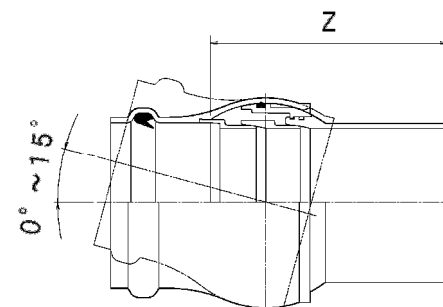


(単位:mm)

呼び径	Z (参考)
200	240

- 注1. ゴム輪受口は、本管形とする。  
2. 面取りの形状は、規定しない。

本管用内面平滑自在継手

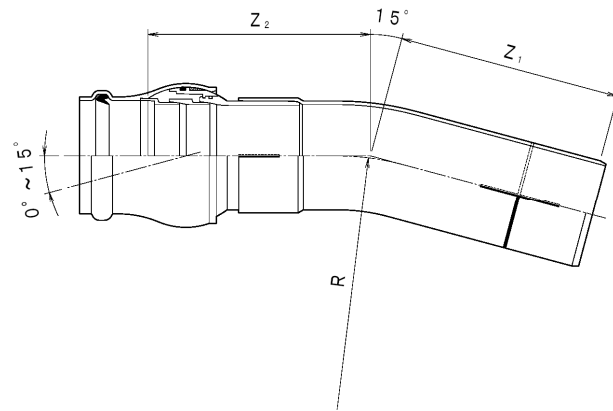


(単位:mm)

呼び径	Z (参考)
200	320

- 注1. ゴム輪受口は、本管形とする。  
2. 面取りの形状は、規定しない。

本管用曲管(内面平滑自在受口形)15度曲り(参考図)

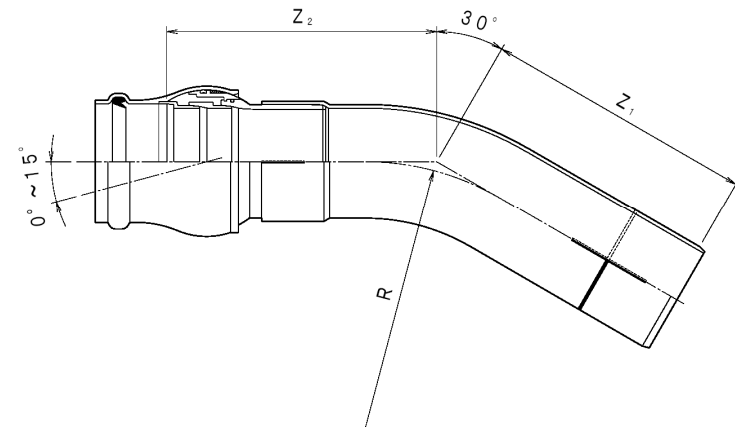


(単位: mm)

呼び径	Z1 (参考)	Z2 (参考)	R (参考)
200	440	440	500

- 注 1. ゴム輪受口は、本管形(自在)とする。  
 2. 面取りの形状は、規定しない。

本管用曲管(内面平滑自在受口形)30度曲り(参考図)



(単位: mm)

呼び径	Z1 (参考)	Z2 (参考)	R (参考)
200	510	510	500

- 注 1. ゴム輪受口は、本管形(自在)とする。  
 2. 面取りの形状は、規定しない。